

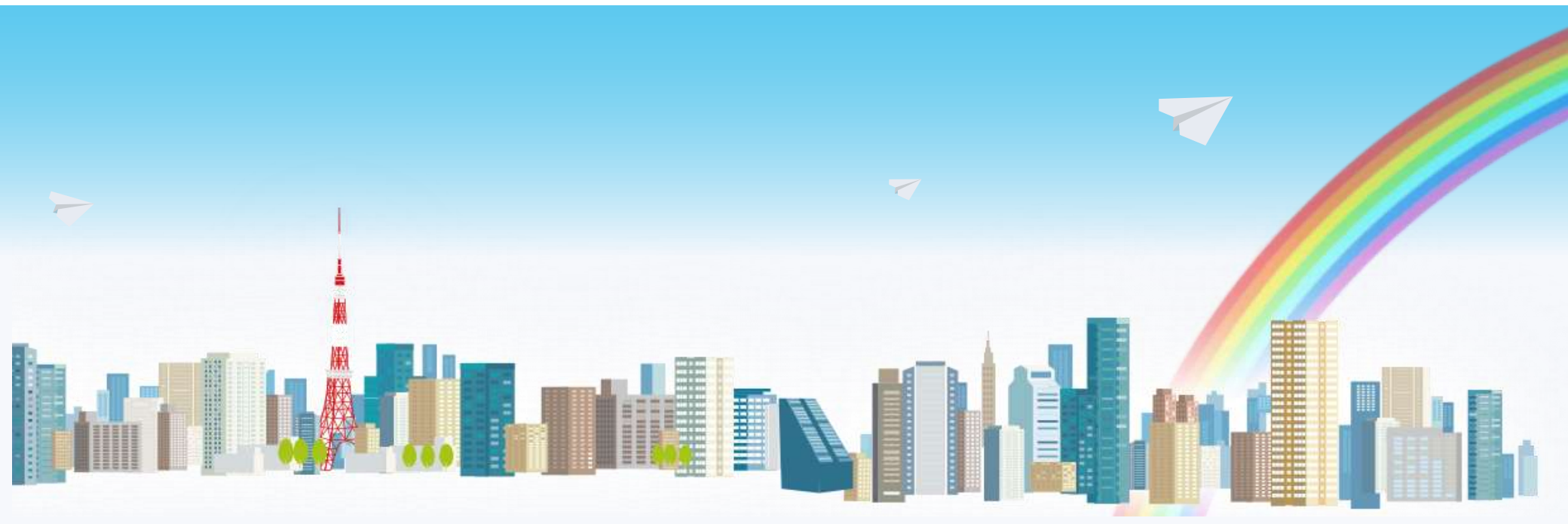
2021年7月14日



2021年11月期 第2四半期 決算説明資料

AHCグループ株式会社

証券コード：7083



1	2021年11月期 第2四半期実績	3P
2	2021年11月期 通期業績予想	16P
3	成長戦略	23P
4	補足資料（会社・事業概要）	32P



1	2021年11月期 第2四半期実績	3P
2	2021年11月期 通期業績予想	16P
3	成長戦略	23P
4	補足資料（会社・事業概要）	32P



- 売上高はほぼ横ばいの1,988百万円、営業利益は事業所数の増加にともなう売上原価の増加により113百万円減少の▲95百万円、経常利益は外食事業の給付金等により75百万円減少の▲19百万円となった

(単位：百万円)

	2020年11月期 第2四半期累計実績 (2019/12~2020/05)		2021年11月期 第2四半期累計実績 (2020/12~2021/05)		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	1,992	100.0%	1,988	100.0%	-4	-0.2%
売上原価	1,786	89.7%	1,888	95.0%	101	5.7%
売上総利益	205	10.3%	100	5.0%	-105	-51.3%
販管費	188	9.5%	195	9.9%	7	4.0%
営業利益	17	0.9%	-95	-4.8%	-113	-
経常利益	56	2.8%	-19	-1.0%	-75	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	37	1.9%	-21	-1.1%	-58	-



- コロナ禍による福祉・介護事業の利用キャンセル、報酬改定、外食事業の休業・時短営業の延長の影響により、当初予想に対し売上高は減少した
- 外食事業については、休業等の給付金が増加し、営業外収益として計上したため、経常利益の落ち込みは営業利益の落ち込みより抑制することができた

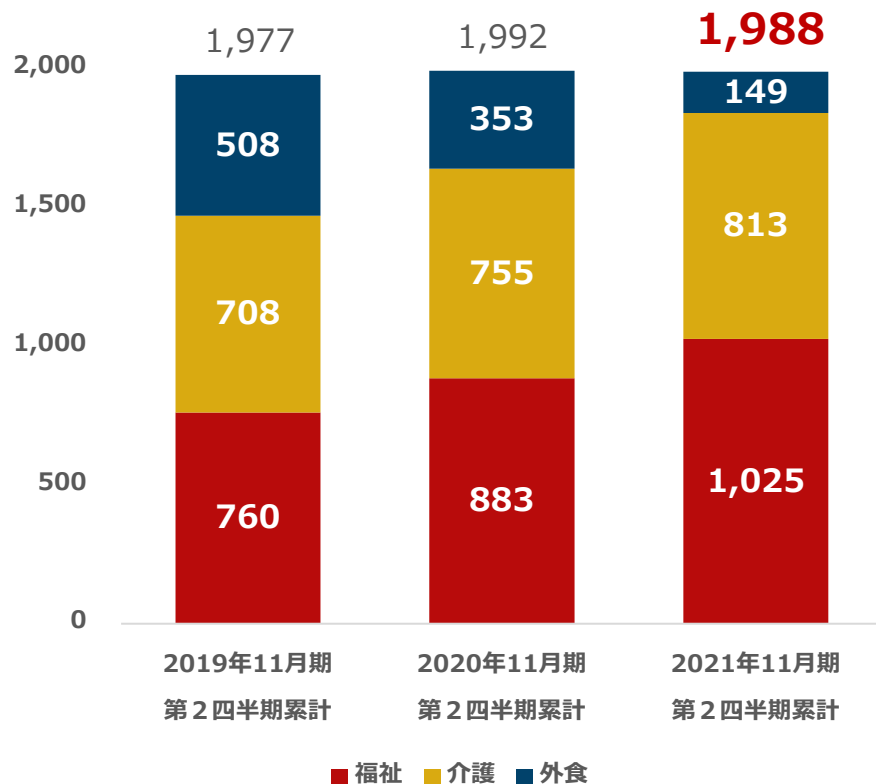
(単位：百万円)

	2021年11月期 第2四半期累計予想 (2020/12~2021/05)		2021年11月期 第2四半期累計実績 (2020/12~2021/05)		予想比 増減額	予想比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	2,204	100.0%	1,988	100.0%	-216	-10%
営業利益	-2	-0.1%	-95	-4.8%	-93	-
経常利益	8	0.4%	-19	-1.0%	-27	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	-8	-0.4%	-21	-1.1%	-12	-



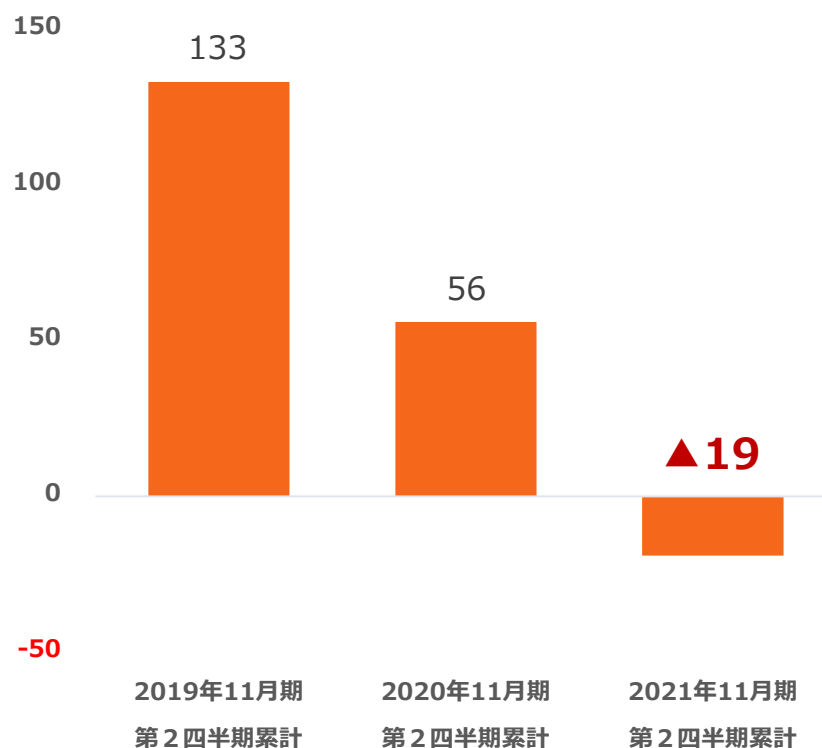
売上高の推移

(単位：百万円)

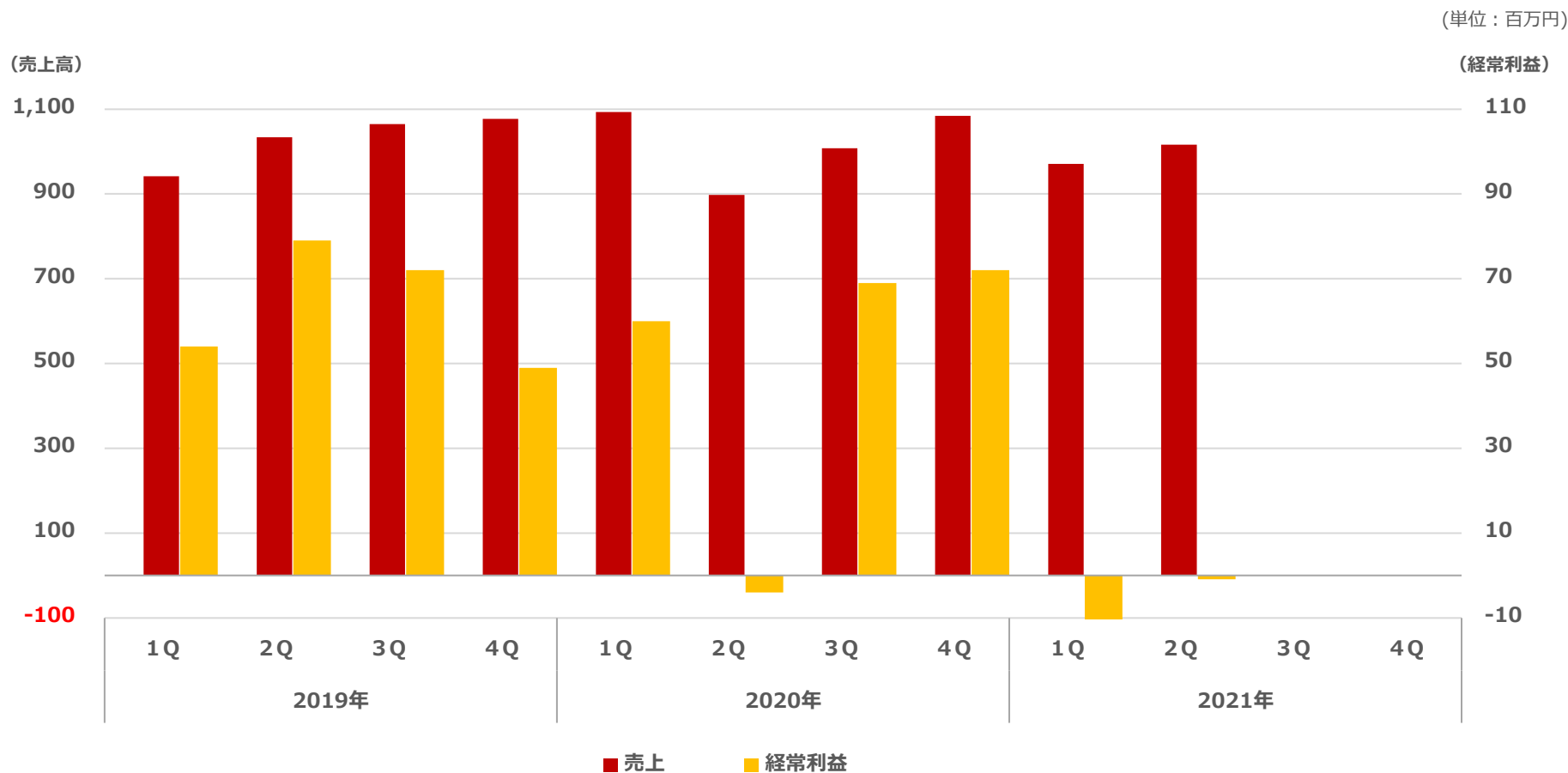


経常利益の推移

(単位：百万円)



- 2021年11月期 第1四半期及び第2四半期で再発出された緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の影響により、売上高及び経常利益は減少・微増の推移をした



- 外食事業では、休業・時短営業により原価外食食材費等が減少したが、福祉・介護事業では、事業所数の増加にともない人件費・地代家賃等の費用が増加した

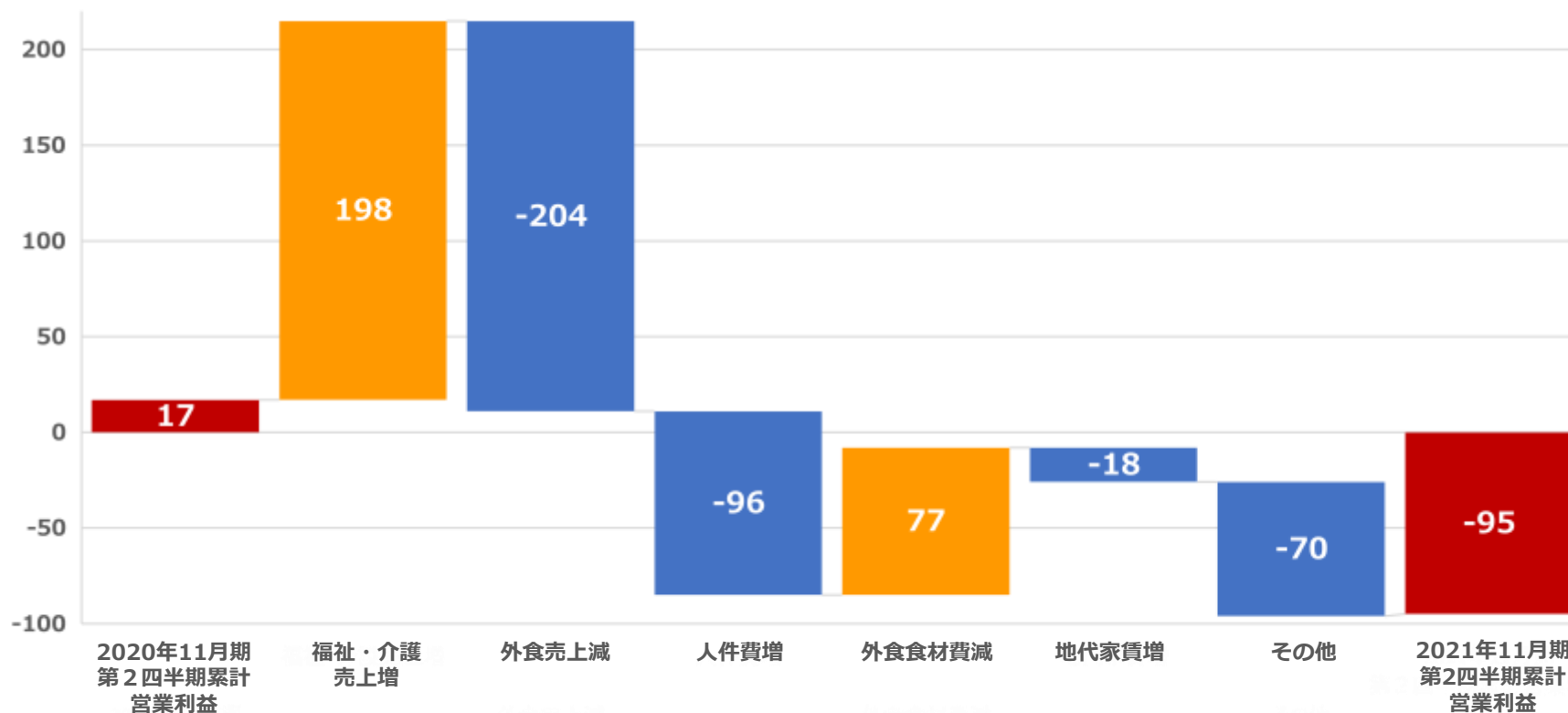
(単位：百万円)

	2020年11月期 第2四半期累計実績 (2019/12~2020/05)		2021年11月期 第2四半期累計実績 (2020/12~2021/05)		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	1,992	100.0%	1,988	100.0%	-4	-0.2%
売上原価	1,786	89.7%	1,888	95.0%	101	5.7%
(人件費)	1,106	55.5%	1,201	60.4%	95	8.6%
(原価外食食材費)	146	7.4%	69	3.5%	-77	-52.6%
(地代家賃)	196	9.9%	215	10.8%	18	9.5%
(その他)	337	16.9%	402	20.2%	64	19.2%
販売費及び一般管理費	188	9.5%	195	9.9%	7	4.0%
(人件費)	46	2.3%	47	2.4%	1	2.5%
(地代家賃)	5	0.3%	5	0.3%	0	5.8%
(その他)	137	6.9%	143	7.2%	6	4.5%
営業利益	17	0.9%	-95	-4.8%	-113	-



- 売上高については、前期までに開設した福祉・介護事業所の立ち上がり、今期開設した福祉事業所の立ち上がりにより増加したものの、外食店舗の休業・時短営業にともなう減少により微減となった
- 費用については、外食事業の食材費が減少し、福祉・介護事業の人件費、地代家賃等が増加した

(単位：百万円)



- 福祉事業では、前期及び今期開設事業所の立ち上がりにより売上高が増加した一方で、報酬改定・不動産取得費用の影響により営業利益は減少した(前期対比)
- 介護事業では、前期開設事業所の立ち上がりにより売上高が増加した一方で、感染症予防関連費用が増加したことにより営業利益は横ばいとなった(前期対比)
- 外食事業では、休業・時短営業の影響により売上高・営業利益ともに減少した(前期対比)

(単位：百万円)

		2020年11月期 第2四半期累計実績 (2019/12~2020/05)	2021年11月期 第2四半期累計予想 (2020/12~2021/05)	2021年11月期 第2四半期累計実績 (2020/12~2021/05)	前年同期比 増減額	予想比 増減額
福祉事業	売上高	883	1,048	1,025	141	-23
	営業利益	119	96	91	-27	-5
介護事業	売上高	755	830	813	57	-16
	営業利益	43	58	42	-1	-15
外食事業	売上高	353	325	149	-204	-176
	営業利益	-20	-18	-91	-71	-73
調整額	売上高	0	0	0	0	0
	営業利益	-125	-138	-137	-12	1
合計	売上高	1,992	2,204	1,988	-4	-216
	営業利益	17	-2	-95	-113	-93

※調整額：各セグメントに帰属しない全社費用及びセグメント間取引消去



【福祉事業】


■ 利益増減の要因（2020年11月期第2四半期対比 売上高+141百万円 営業利益▲27百万円）

- ・ 2019年・2020年開設事業所が順調に推移し、前年実績に対し売上高が増加（放課後等デイサービス+34百万円、グループホーム+101百万円）
- ・ 就労継続支援B型事業所は利用者数が前年実績に対し8.4%増加(+5百万円)
- ・ 不動産を取得したことにより取得費用が発生(+23百万円)

【介護事業】


■ 利益増減の要因（2020年11月期第2四半期対比 売上高+57百万円 営業利益▲1百万円）

- ・ 介護事業所ではワクチン接種等による利用キャンセルは一時的にあるものの、2019年、2020年開設事業所が順調に推移し、前年実績に対し売上高が増加(+57百万円)
- ・ 新規事業所の開設による開設前費用が発生し、営業利益が減少(▲6百万円)



【外食事業】



■利益増減の要因（2020年11月期第2四半期対比 売上高▲204百万円 営業利益▲71百万円）

- ・居酒屋店舗は休業・時短営業等の影響を受け、前年実績に対し売上高が減少(▲165百万円)
- ・カツカレー専門店は、時短営業の影響を受けるも、立ち上がりやデリバリー販売が増加したため売上高が増加(+6百万円)
- ・居酒屋店舗の自粛等の影響を受け、前年実績に対し加工・物流センターの売上高が減少(▲52百万円)
- ・売上原価は休業等の影響を受け減少したものの、人件費や地代家賃をはじめとする固定費は継続して発生しているため、営業利益は前年実績に対し減少(▲71百万円)



2021年11月期第2四半期までに合計7事業所を開設

計画(通期)：グループホーム15(75居室)、放課後等デイサービス1、生活介護1、通所介護1

実績(第2四半期累計)：グループホーム6(39居室) 放課後等デイサービス-、生活介護1、通所介護-

■福祉事業：7事業所を開設

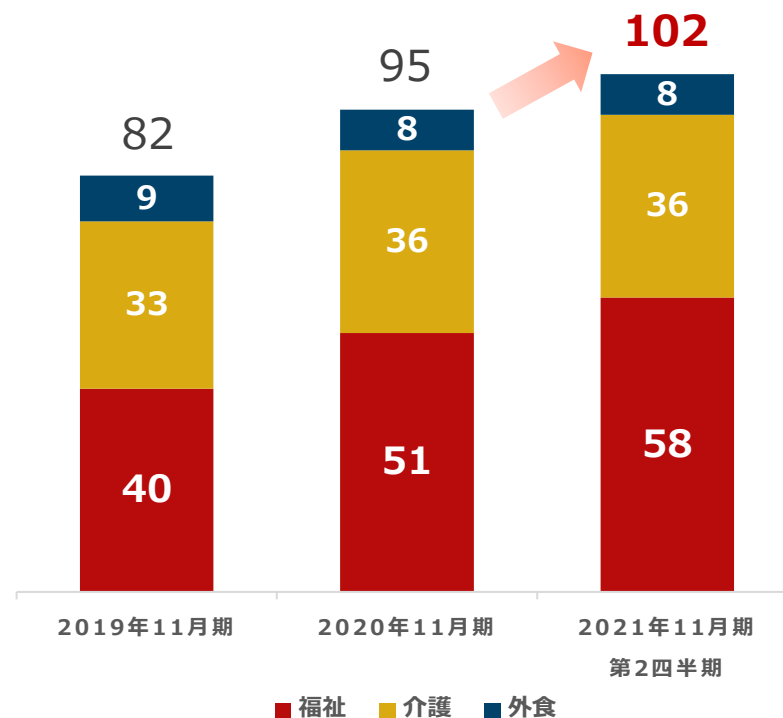
共同生活援助(グループホーム)6事業所39居室

- ・千葉県千葉市 1事業所(5居室)
- ・千葉県船橋市 1事業所(7居室)
- ・千葉県市川市 1事業所(8居室)
- ・三重県四日市市 2事業所(12居室)
- ・東京都八王子市 1事業所(7居室)

生活介護 1事業所

- ・「アプリケアワークス鶴瀬駅西口」(12月)

事業所数の推移



(単位：百万円)

科目	2020年11月期 期末	2021年11月期 第2四半期末	前期末 増減額
流動資産	3,134	3,143	8
固定資産	704	1,197	493
（有形固定資産）	487	953	465
（無形固定資産）	31	61	29
（投資その他の資産）	184	183	-1
総資産	3,838	4,340	501
負債	2,483	3,005	522
（流動負債）	874	772	-101
（固定負債）	1,608	2,233	624
純資産	1,355	1,334	-20

■ 流動資産の増減要因

- ・ 現金及び預金の増加(+29百万円)
- ・ 売掛金の減少(▲24百万円)

■ 固定資産の増減要因

- ・ 有形固定資産の増加(+465百万円)
- ・ 無形固定資産の増加(+29百万円)

■ 負債の増減要因

- ・ 長期借入金の増加(+624百万円)

■ 純資産の増減要因

- ・ 繰越利益剰余金の減少(▲19百万円)



(単位：百万円)

	2020年11月期 第2四半期累計実績	2021年11月期 第2四半期累計実績
税金等調整前四半期純利益	56	-11
法人税等の支払額	-56	-81
営業活動によるCF	5	-28
有形固定資産の取得による支出	-21	-550
有形固定資産の売却による支出	-	71
無形固定資産の取得による支出	-	-35
投資活動によるCF	45	-521
長期借入れによる収入	550	1,070
借入金返済による支出	-182	-486
株式発行による収入	974	0
財務活動によるCF	1,267	579
現金及び現金同等物の増減額	1,319	29
現金及び現金同等物の期首残高	667	2,291
現金及び現金同等物の期末残高	1,987	2,320

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

- ・税金等調整前四半期純利益の減少
- ・法人税等の支払による減少

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

- ・有形固定資産の取得による減少
- ・無形固定資産の取得による減少

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

- ・長期借入れによる増加



1	2021年11月期 第2四半期実績	3P
2	2021年11月期 通期業績予想	16P
3	成長戦略	23P
4	補足資料（会社・事業概要）	32P



- 新型コロナウイルス感染拡大の影響は、2021年11月期中は継続するものと想定
- 売上高は4,256百万円(前期比4.2%増)、営業利益は▲141百万円(前期比248百万円減)、経常利益34百万円(前期比82.7%減)と予想を修正

(単位：百万円)

	2020年11月期実績 (2019/12~2020/11)		2021年11月期予想 (2020/12~2021/11)		前期比 増減額	前期比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	4,086	100.0%	4,256	100.0%	169	4.2%
営業利益	106	2.6%	-141	-3.3%	-248	-
経常利益	197	4.8%	34	0.8%	-163	-82.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	102	2.5%	-16	-0.4%	-119	-



■ 福祉・介護事業

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大の影響は休業等の規制対象でないことから軽微であると想定
- ・ 既存事業所のご利用者様の利用キャンセルは多少あるものの、維持していくものと想定
- ・ 2019年及び2020年開設事業所は立ち上がり、順調に推移していくものと想定
- ・ 2021年11月期開設事業所は、グループホーム12事業所(81居室)、放課後等デイサービス1事業所、生活介護1事業所、就労継続支援B型事業所1事業所、介護デイサービス2事業所を計画

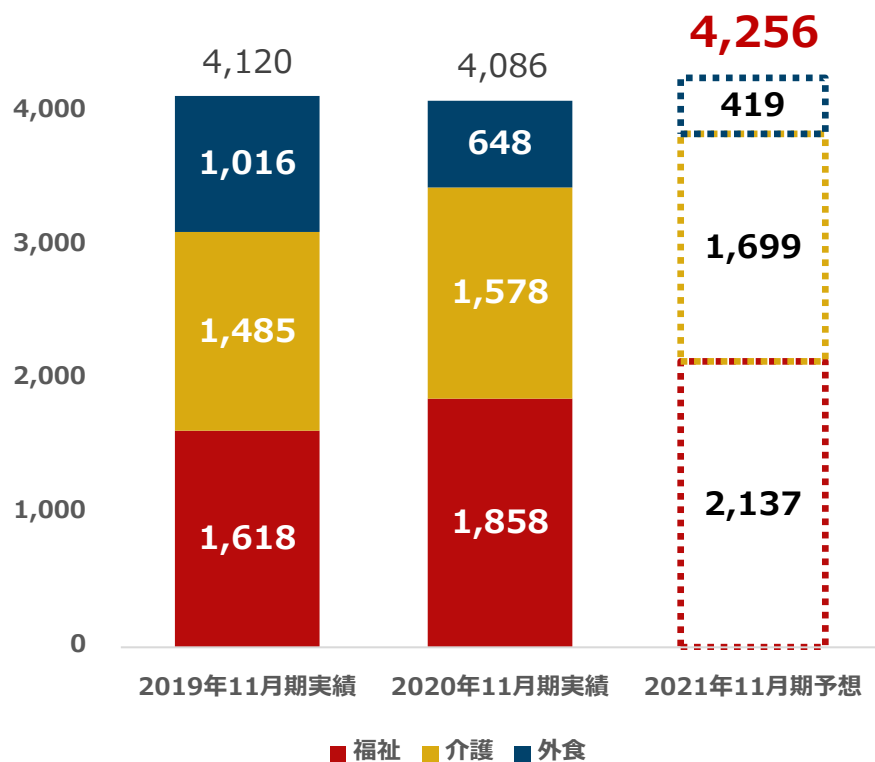
■ 外食事業

- ・ 緊急事態宣言等の要請を受け、居酒屋店舗の休業(7/12~8/22)、時短営業の実施を考慮
- ・ 4回目の緊急事態宣言解除後は、ワクチン接種の進捗とともに新型コロナウイルス感染症は緩やかに収束に向かっていくことを想定
- ・ 「テイクアウト業態」2店舗を計画
- ・ 感染拡大防止協力金等の給付金を営業外収益で想定



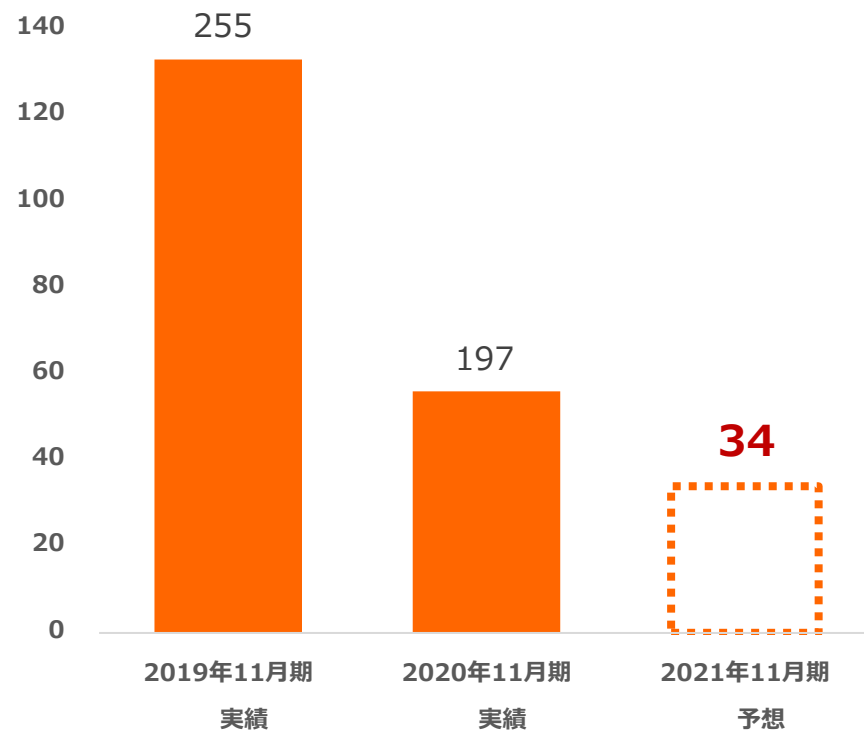
売上高の推移

(単位：百万円)



経常利益の推移

(単位：百万円)



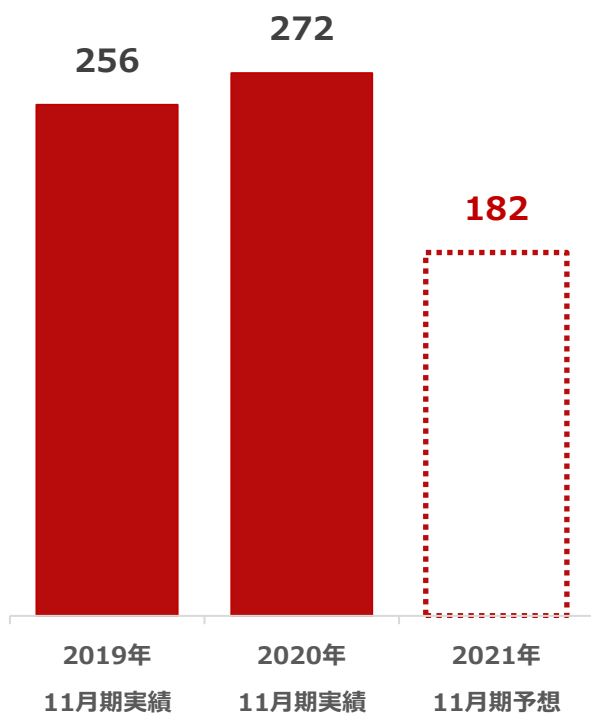
- ワクチン接種の進捗により、新型コロナウイルス感染症の拡大は緩やかに収束に向かっているものと想定
- 福祉・介護事業は、新規開設事業所の立ち上がりによる売上増加と報酬改定・コロナ禍・追加の開設事業所(2事業所)の影響を加味して想定
- 外食事業は、緊急事態宣言の再発出による休業・時短営業とその後の緩やかな回復、新店の影響(2店舗)を加味して想定

(単位：百万円)

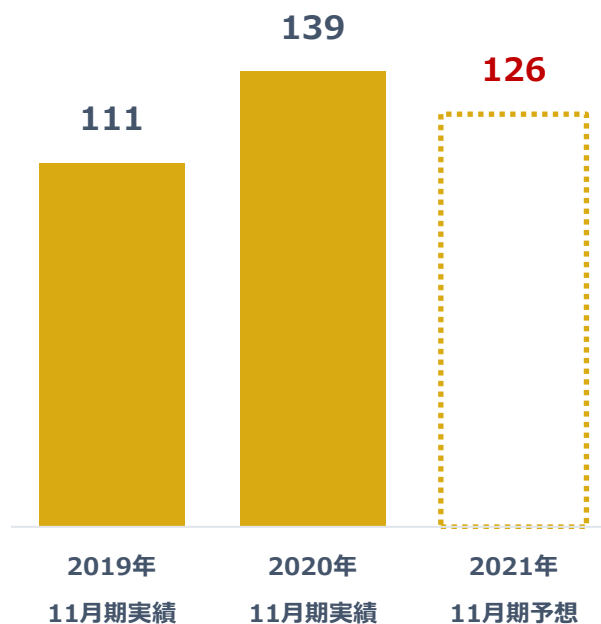
		2020年11月期 (2019/12~2020/11) 実績	2021年11月期 (2020/12~2021/11) 予想	前期比 増減額
福祉事業	売上高	1,858	2,137	278
	営業利益	272	182	-89
介護事業	売上高	1,578	1,699	121
	営業利益	139	126	-13
外食事業	売上高	649	419	-230
	営業利益	-56	-171	-115
調整額	売上高	0	0	0
	営業利益	-248	-278	-30
合計	売上高	4,086	4,256	169
	営業利益	106	-141	-248



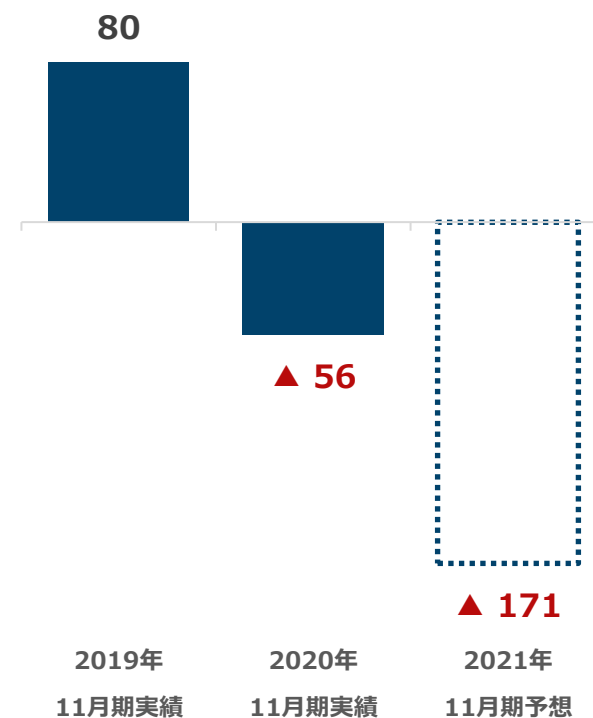
福祉事業



介護事業



外食事業



2021年11月期は合計19事業所の開設に計画を修正

当初計画：グループホーム15(75居室)、放課後等デイサービス1、生活介護1、通所介護1

修正計画：グループホーム12(81居室)、放課後等デイサービス1、生活介護1、就労継続B型1、通所介護2、外食テイクアウト2

■ 福祉事業：15事業所を開設

共同生活援助(グループホーム)12事業所81居室

▶ 上期までに6事業所39居室 開設済

▶ 下期に6事業所 開設予定

- ・ 千葉県船橋市 1事業所 開設予定
- ・ 埼玉県富士見市 2事業所 開設予定
- ・ 東京都八王子市 1事業所 開設予定
- ・ 神奈川県藤沢市 1事業所 開設予定
- ・ 三重県桑名市 1事業所 開設予定

生活介護 1事業所 ▶ 12月開設済

放課後等デイサービス 1事業所 ▶ 9月開設予定

就労継続B型 1事業所 ▶ 10月開設予定

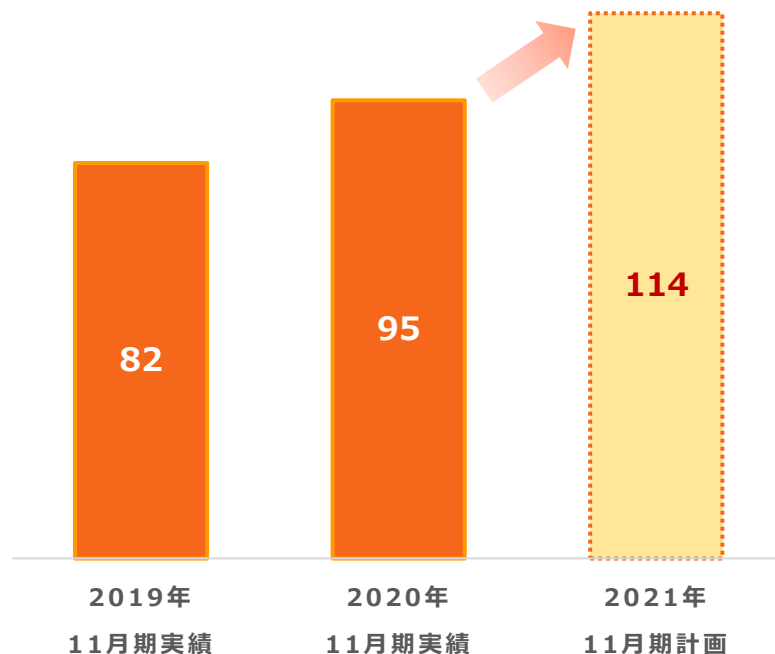
■ 介護事業：2事業所を開設

通所介護デイサービス ▶ 6月・8月開設予定

■ 外食事業：2店舗を開設

テイクアウト ▶ 8月・9月開設予定

事業所数の推移



1	2021年11月期 第2四半期実績	3P
2	2021年11月期 通期業績予想	16P
3	成長戦略	23P
4	補足資料（会社・事業概要）	32P



当面は主力の福祉事業に資源を集中投下し、さらなる事業間のシナジー強化を図る

福祉事業

- ・ 共同生活援助(グループホーム)開設強化(継続)
- ・ 放課後等デイサービス卒業後の日中支援をサポートする場を強化
(就労継続支援B型(継続)・生活介護(2021~))
- ・ ワンストップサービス体制の構築(継続)

外食事業

- ・ 福祉事業との連携(継続)
(共同生活援助の食事メニュー支援(継続))
- ・ テイクアウト業態の開発(2021~)

介護事業

- ・ 休業・廃業を検討している優良事業所のM&A(事業譲受)を推進(継続)
- ・ 「グリーンデイ」ブランドの認知度向上に向けたドミナント形成(継続)





障害者の社会的自立をサポートする「共同生活援助(グループホーム)」

共同生活援助(グループホーム)は障害者総合支援法の訓練等給付に位置づけられるサービス。自立した生活を目指している方に共同生活を送る事が可能な住居を提供し、ご本人主体で安心して安定した生活が送れるよう、主に夜間において入浴や食事の介護、その他日常生活上の援助など生活をサポート。

※障害者総合支援法は、障害のある方の基本的人権を尊重し、その尊厳を保つという主旨で整備された法律です。

具体的な利用対象者

- ・ 単身での生活は不安があるため、一定の支援を受けながら地域の中で暮らしたい方
- ・ 一定の介護が必要であるが、施設ではなく地域の中で暮らしたい方
- ・ 施設を退所して、地域生活へ移行したいがいきなりの単身生活には不安がある方

など

具体的な支援内容

- ・ 主として夜間において、共同生活を営むべき住居における相談、入浴、排せつ又は食事の介護その他日常生活上の援助を実施
- ・ 利用者の就労先又は日中活動サービス等との連絡調整や余暇活動等の社会生活上の援助を実施

必要な設備等

- ・ 共同生活住居ごとに1以上のユニットが必要
- ・ ユニットの入居定員は2人以上10人以下 ※平均6名程度
- ・ 相互に交流を図ることが出来る設備を設ける(談話室・食堂など)
- ・ 居室面積は収納設備を除き7.43㎡以上(6畳半程)

売上構成

=



社会保障費(給付金)
1人当たり
1日約5,000円~7,000円

+



- ・ 家賃
- ・ 食費
- ・ 水光熱費
- ・ 消耗品費等



GROUP HOME

Beetle 「美味しい食事」へのこだわり

外食事業で培った商品力で「おいしい」にとことんこだわって「主食」「副菜」「一汁」を基本にバリエーション豊富なメニューを提供。

<品質保持の取り組み>

- ・わかり易さ重視の動画マニュアルを導入。
- ・巡回による調理技術直接指導。
- ・メニュー作成後の出来上がり写真を社内共有。



GROUP HOME **Beetle**

「Beetle365（自立支援プログラム）」

これまでの福祉事業での経験を活かし、自立した生活実現のためのサポートを365日ご利用様の障害特性に合わせて行っております。

①セルフプログラム：事例

- ・ 自己管理（「外出」「入浴」などのスケジュールの視覚化、バイタルチェック）
- ・ 入浴（心身を清潔に保つ習慣づくり）
- ・ 清掃（自室のごみ捨てや定期的な居室チェックにて清掃習慣指導）



②サポートプログラム：事例

- ・ 服薬管理（服薬忘れの防止、決まった時間での服薬習慣づけサポート）
- ・ 食事管理（栄養とバランスを考えた作り立てメニューの提供）
- ・ 金銭管理（視覚化など金銭コントロールができない方のサポート）



③エンジョイプログラム：事例

- ・ イベント活動（お正月・七夕・クリスマスなど）
- ・ 趣味（趣味を生かした共同生活での活躍の場を提供など）
- ・ 外出（お買い物などを通した自立をサポート）



大手ハウスメーカーと協業し、共同生活援助(グループホーム)事業所を開設

土地活用の検討
オーナー様が求めるもの



ハウスメーカー様
が求めるもの



当社が求めるもの



- ・不動産投資をしたい
 - ・空室リスクを無くしたい
 - ・家賃滞納が心配
- ・・・など

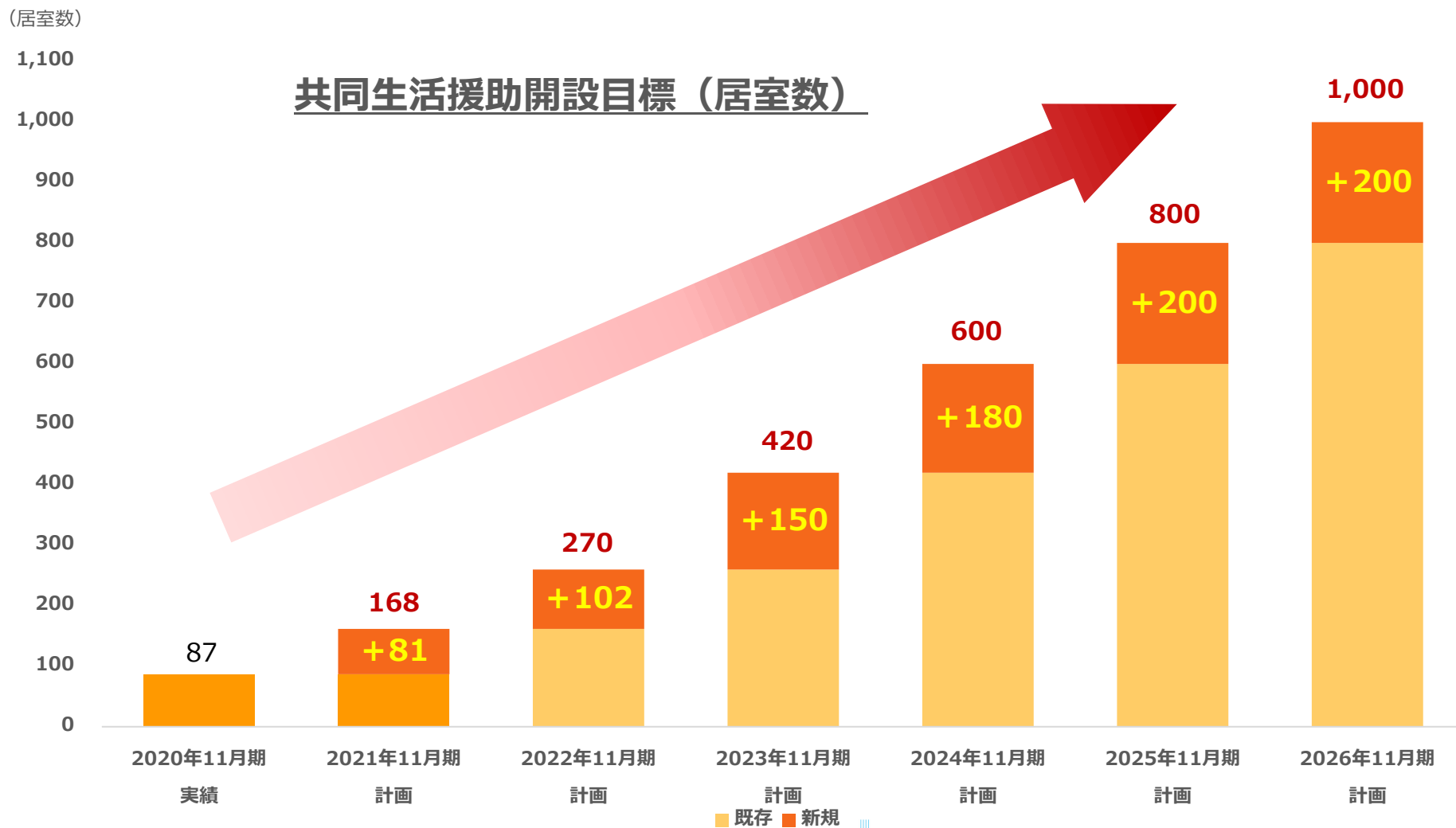
- ・物件開発をしたい
- ・施工管理をしたい
- ・不動産仲介をしたい

- ・グループホームが運営できる建物を確保したい
- ・長期契約をしたい

首都圏での機動的な開発を推進



共同生活援助(グループホーム)居室数No.1を目指し、集中的に開設

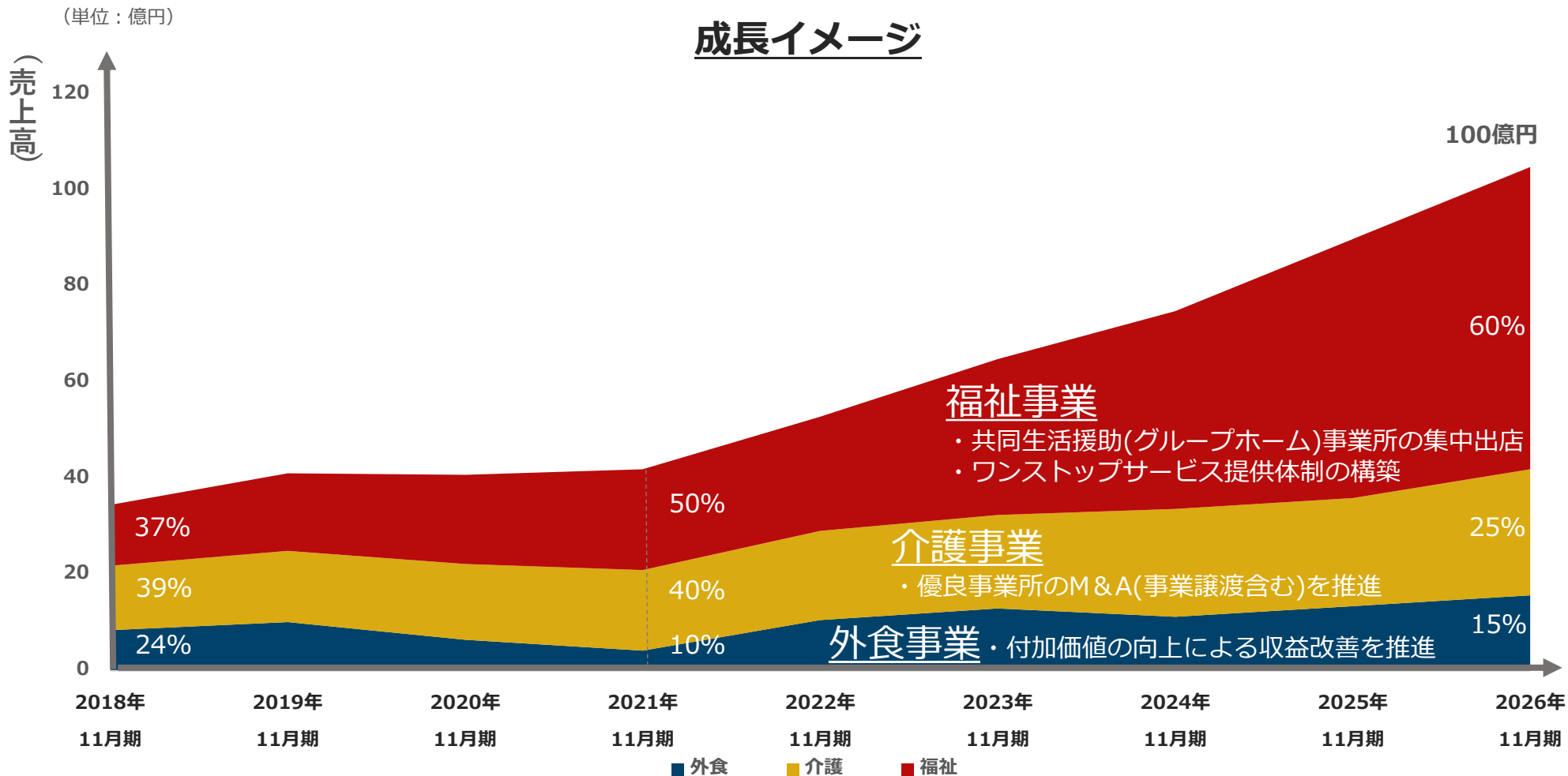


福祉：共同生活援助(グループホーム)事業を強化

福祉：生活介護事業(名称：アプリケアワークス)をスタート



福祉事業への注力により業容を拡大



1	2021年11月期 第2四半期実績	3P
2	2021年11月期 通期業績予想	16P
3	成長戦略	23P
4	補足資料（会社・事業概要）	32P





当社グループは
社会福祉に特化した人生の総合サポート企業です

会社名	AHCグループ株式会社（エイエイチシーグループ）
本店所在地	〒101-0032 東京都千代田区岩本町二丁目11番9号 イトーピア橋本ビル2階
代表者	代表取締役社長 荒木喜貴
設立	2010年1月
資本金	499,683千円（2021年5月31日現在）
従業員人数	377人（2021年5月31日現在） ※パート・アルバイト除く
業種	福祉事業、介護事業、外食事業 他

グループ会社（連結子会社）

- S Lカンパニー株式会社（福祉事業所の運営）
- テラスワールド株式会社（福祉事業所の運営）
- 介護ジャパン株式会社（介護事業所の運営）
- センターネットワーク株式会社
（食材の仕入れ加工・物流）



2007

2007年
介護事業スタート

通所介護(デイサービス)事業所を開設



あいである
デイサービス



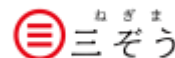
グリーンデイ
デイサービス



2008

2008年
外食事業スタート

居酒屋店舗を開設



2010

AHCグループ(株)設立

介護事業のノウハウを活かし
未就学～成人後までサポートできる福祉事業を展開

2014

2014年
福祉事業スタート

放課後等デイサービス(児童発達支援含む)
事業所を開設



6歳～18歳対象

※当社基準

2016

就労移行支援事業所を開設
就労継続支援 B 型事業所を開設



18歳～64歳対象

18歳以上対象

2018

障害児相談支援・計画相談支援事業所を開設

0歳～対象

2019

共同生活援助(グループホーム)事業所を開設
未就学児に特化した児童発達支援事業所を開設



18歳以上対象

未就学児対象

2020

東証マザーズ上場

生活介護事業所を開設



18歳以上対象



福祉・介護・外食の3事業を中核として事業展開



働くこと・自立していくことを実現させる

福祉事業：業態別概要



《児童発達支援・放課後等デイサービス》

知的障害・発達障害を抱える未就学児・小学生・中学生・高校生を対象とした生活能力の向上のために必要な訓練等の療育プログラム、社会との交流の促進につながる外出プログラム等を提供



《就労移行支援》

企業への就労を希望する65歳未満の障害のある方に対して、具体的な就労相談や就業体験等を促し、一般企業への就労の実現を支援



《就労継続支援B型》

生産活動にかかる知識・能力の向上や維持が期待され、雇用契約通りの就業が困難な障害のある方に対して、生産活動とそれを通じた工賃の支払いの場を提供



《共同生活援助（グループホーム）》

共同生活を営む住居を提供する事業所
日中活動を行っている障害のある方に対して、主に夜間において、食事の提供やその他の日常生活上の援助を実施



《生活介護》

常に介護を必要とする方に対して、主に昼間において、日常生活上の支援、創作的活動・生産活動の機会の提供や身体機能や生活能力の向上のために必要な援助を支援



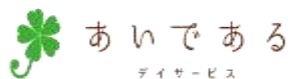
地域に根ざし、個別サービスを提供することで高い稼働を実現

介護事業：通所介護(デイサービス)概要



《デイサービス クラス》

できる限り日常に近い環境の中で、過ごして頂くことができる業態
緊急時の宿泊希望を受け入れ、ご家族の介護負担を軽減し、24時間切れ目のない介護を提供



《デイサービス あいである》

自立度が高い(要介護度1~2)ご利用者様が多く、機能訓練を中心としたレクリエーションを提供(定員20名~30名)



《介護予防運動デイサービス KAGAYAKI》

短時間の機能訓練を中心とした業態
午前と午後のショート利用が可能(ショート利用でも入浴サービスを提供)



《デイサービス グリーンデイ》

リハビリとデイサービスの両立を目指した業態
3種類のリハビリマシンを導入すると共に、機能訓練メニューを提供
ドアtoドア送迎と個別入浴サービスも提供



《デイサービス トリコロール》

「つなぐ」をテーマに、食・運動・娯楽にこだわった3つのサービス曜日毎に変えてプログラムを提供





関わる全ての人を想う
というささやかな一歩を、コツコツと積み重ね、
想いを深く広げていく先に、
希望にあふれる未来を創造します

免責事項

- ・本資料に掲載されている将来情報等は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づくものであり、その実現を保証するものではありません。また、当社グループの事業を取り巻く、経済情勢、市場動向等の様々な要因の変化により、実際の業績や結果と乖離が生じる可能性がありますので予めご承知おきください。
- ・本資料は、当社及び当社グループを理解いただくための情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却等を勧誘するものではありません。
- ・今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる情報の更新・修正を行う責務を負うものではありません。

【お問合せ先】

AHCグループ株式会社 IR担当

TEL : 03-6240-9550

E-mail : info-ir@ahc.co.jp

